

ケーススタディ | ハーゲンダッツ ジャパン

NVIDIA GRID の導入 によって、社員の仮想 デスクトップ環境が飛躍的 に改善！新 VDI 基盤で実現 した生産性の向上





Web ブラウザ、および業務アプリケーションの安定性とパフォーマンスを向上させるグラフィックスアクセラレーション (GPU)

NVIDIA GRID® 導入の理由

- > VDIパフォーマンスを約 10 倍 向上
- > 一貫した、優れたユーザーエクスペリエンス
- > Windows 10 でのグラフィックス需要増加に対応
- > 情報システム部の作業やヘルプ対応負荷軽減

イントロダクション

ハーゲンダッツ ジャパンは、米国のアイスクリームブランド Häagen-Dazs の日本法人。日本におけるプレミアムアイスクリームのパイオニアである同社は、1984 年デパート、高級スーパーでパイントの販売をスタート。現在、ハーゲンダッツ ジャパンは、多様なマルチメディアを備えた Web サイトや、テレビCMなどを通じて、高級感あるブランドイメージをビジネスパートナーと消費者にアピールしている。

ユーザープロフィール



組織名
ハーゲンダッツ
ジャパン
株式会社

業界
製造業

地域
日本、
東京

設立
1984 年

社員数
300 人

Web サイト
www.Häagen-Dazs.co.jp



概要

- > ハーゲンダッツ ジャパンでは、米国のブランド Häagen-Dazs の日本法人としてプレミアムアイスクリームの製造を行っている。
- > 5 年前に VDI を採用しているが VDI 環境では動作が重く、Web サイトのコンテンツがリッチになるにつれ、スムーズに表示されることが困難になっていた。Microsoft Office のパフォーマンスも劣化した。
- > ハーゲンダッツ ジャパンの情報システム部は、NVIDIA GRID® を活用した VDI インフラ基盤を新たに導入した。

導入ソリューション

VMware vSphere、VMware vSAN
NVIDIA GRID® Virtual PC (vPC) 6.1

導入ハードウェア

サーバ: HPE Proliant DL380 Gen10
GPU: NVIDIA® Tesla® M10

チャレンジ

ハーゲンダッツ ジャパンは、1980 年代半ばにプレミアムアイスクリームの概念を日本に持ち込んだ。同社は瞬く間に成功を収めたが、そのカギとなったのは、現地調査とともに、日本の消費者が好む、日本市場向けのアイスクリームの開発であった。このようなアイスクリームに対する画期的な取り組みにより、同社は過去 30 年のあいだ、日本の高級アイスクリームのマーケットをリードしてきた。

ハーゲンダッツ ジャパンは、広いブランド認知を背景に、多様なマルチメディアを備えた Web サイトを通じて、高級感のあるブランドというイメージの訴求に推進していった。同社はこの時期より自社製イノベーションにこだわる方針を転換して、仮想デスクトップ環境の導入、全社員のデスクトップ環境と IT 管理を刷新した。ハーゲンダッツ ジャパンは VDI 導入により、IT の近代化を成し遂げる一方で、新たな課題に直面することになった。

最大の課題の 1 つは、社内から自社 Web サイトへのアクセスが大幅に遅くなったことであった。「洗練された Web サイトは、当社の事業の中核を成すものです。Web サイトでは、アイスクリームの味見はできません。しかし、動画やアニメーションは、当社商品の高級感を伝える重要なメディアです。Web サイトを利用するのは、消費者だけではありません。当社の営業担当者たちも、ビジネスパートナーとの会議中にアクセスします。当社には、Web サイトを定期的にアップデートするチームがあり、社員は Web サイトで商品情報をチェックします。残念ながら、VDI でそれを確認することは、事実上不可能だったのです」と情報システム部マネージャーの竹下新一氏は話す。

ブランド認知はハーゲンダッツ ジャパンにとってきわめて重要であり、Web サイトの表示速度が遅いということは、そのブランドイメージを壊すことにつながりかねない。「販売会議で Web サイトの表示が遅いと、オフィスの外でもいつも遅いと思われてしまいます。数年間にわたって、VDI の低パフォーマンスは、Web サイトへのアクセススピードの鈍化をもたらし、さらに生産性の低下も招きました。また、ブラウザの表示速度、Excel や PowerPoint、Outlook といった Microsoft Office などの業務アプリケーションでもパフォーマンスの劣化が顕在化していました。アプリケーションの安定性が損なわれる一方だったため、昨年、ハーゲンダッツ ジャパンでは、仮想デスクトップ基盤をアップグレードするプロジェクトを始動しました」と竹下氏は話す。



「NVIDIA の仮想 GPU の導入前と導入後を比較してみると、パフォーマンスが大幅に改善されたことがわかります。NVIDIA によって、コンテンツ表示とレンダリングの速度がはるかに高速化されたことが明らかになったのです」

ハーゲンダッツ ジャパン
情報システム部
古閑勝一氏

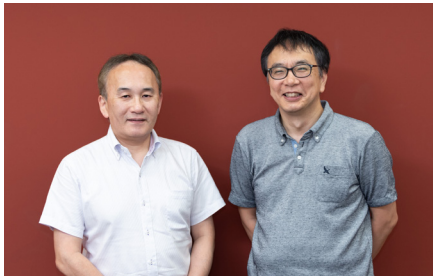
ソリューション

当初、プロジェクトの完了予定日は 2018 年 11 月とされていた。しかし、VDI のパフォーマンスは低下の一途を辿った。さらに、情報システム部では、グラフィックスが 30% 増加する Windows 10 へのアップグレードテストを開始したいと考えていた。2018 年初頭、プロジェクトを先に進めるために、同社のリーダーたちが取締役会と話し合い、プロジェクトの予定を前倒してもよいという承認を得た。その時点から情報システム部は、最良の仮想デスクトップ基盤のアップグレード方法に関して複数のベンダーとの協議を開始した。

ハーゲンダッツ ジャパンと協議していた株式会社ネットブレインズは、同社の WebGL ベースの Web サイトをユーザーが快適に閲覧できるようにし、さらに Microsoft Office のユーザーエクスペリエンスの改善のため、NVIDIA の仮想 GPU (vGPU) ソリューションの導入を提案した。同社は、ハーゲンダッツ ジャパンに対して 3 か月におよぶ概念実証 (POC) を行い、NVIDIA GRID の導入が同期間の Web サイトのパフォーマンスを大幅に向上したことを立証した。

NVIDIA GRID は、Web サイト上のアニメーションを明瞭に閲覧できるようにすると共に、スムーズかつ一貫したエクスペリエンスを提供した。そして、NVIDIA GRID なしでは Web サイトの閲覧はきわめて困難になることを、POC を通じて実証した。「NVIDIA の仮想 GPU の導入前と導入後を比較してみると、パフォーマンスが大幅に改善されたことがわかる。NVIDIA によって、コンテンツ表示とレンダリングの速度がはるかに高速化されたことが明らかになったのです」と竹下氏は言う。

ハーゲンダッツ ジャパンは HPE DL380 Gen10 サーバを購入し、そのそれぞれに 1 つの Tesla M10 GPU を搭載して NVIDIA GRID vPC ソフトウェアを稼働させることで、全ユーザーの仮想デスクトップを加速化させることに成功した。Tesla M10 GPU は業界最高レベルのユーザー密度ソリューションとなっており、ハーゲンダッツ ジャパンでは、サーバ 1 台につきそれぞれが 512MB のプロファイルサイズを持つユーザーをサポートすることが可能になった。また近い将来 Win10 VDI のために各サーバへ Tesla M10 を 1 つずつ増設し、1GB のプロファイルサイズを利用することも可能だ。



「[Windows 10 に] 移行した際、NVIDIA GRID が著しい成果をもたらしてくれるものと期待しています」

ハーゲンダッツ ジャパン
株式会社
情報システム部マネージャー
竹下新一氏

今後を見据え

2018年7月、ハーゲンダッツ ジャパンは、NVIDIA GRID を利用した Windows 10 VDI 環境テストについての NVIDIA との打ち合わせを開始した。「2019 年に Windows 7 から Windows 10 へのアップグレードを実施した後、NVIDIA の仮想 GPU リソースをより効果的に利用できるようになるでしょう。テスト環境での Microsoft Office などの業務アプリケーションのパフォーマンスを見るのが楽しみです。Windows 10 に移行した際、NVIDIA GRID が著しい成果をもたらしてくれるものと期待しています」と竹下氏は述べていた。

NVIDIA 仮想 GPU ソリューションの詳細についてはこちらをご覧ください。

www.nvidia.com/virtualgpu

www.nvidia.com



© 2018 NVIDIA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED. NVIDIA、NVIDIA のロゴ、NVIDIA GRID は、NVIDIA の商標あるいは登録商標です。その他の企業名および製品名は、それぞれ各社の商標である可能性があります。機能や価格、供給状況、仕様は、予告なく変更される場合があります。SEP 18

リザルト

NVIDIA GRIDを活用した新しいITインフラストラクチャは、ユーザーの日々のエクスペリエンスを大幅に向上させた。ビジネスパートナーに自社の Web サイトを見せる、あるいは製品情報をチェックする際のパフォーマンスは高速化され、自社 Web サイトの信頼性向上に寄与した。「パフォーマンスは、少なくとも 10 倍向上しました。Web サイトの製品ページをロードするのに、本当に長い時間がかかっていたのです。今では情報にアクセスするのも簡単になりました。アップグレードの際に他のリソースのパワーも増強しましたが、導入前と導入後と比較した POC により、パフォーマンスの大幅な改善は、NVIDIA 仮想GPUが大きく寄与していることが立証されています」と竹下氏。

グラフィックスにより高速化されたVDIで、ユーザーは Microsoft Office などの業務アプリケーションで卓越したパフォーマンスを発揮することもできる。竹下氏は次のように話している。「社員はたくさんのリソースを同時に利用・消費しています。5つから6つのブラウザタブを開き、Excel のスプレッドシートを 2 つから 8 つ程度開き、さらに PowerPoint と電子メール、20 の異なったウィンドウを展開させているのですから、これまでリソースが不足していたのは明らかです。しかし、スタッフは、現環境で提供される 512MB のプロファイルサイズによって、作業の種類に関わらず、優れたパフォーマンスを享受することができるのです」

情報システム部も、アップグレードされた環境による恩恵を受けている。「5 年前に最初の仮想デスクトップ環境を導入したとき、当初の 3 か月は昼も夜も休みなく働かなければなりません。ユーザーからの質問や苦情が殺到したからです。今回インフラストラクチャを更改し、NVIDIA の仮想 GPUを導入した結果、トラブルがまったくありませんでした。とてもスムーズに移行できたのです」

ユーザーのヘルプデスクへの問い合わせ、質問、課題の減少が、トラブルシューティングに費やす時間を大幅に削減した。「私は、日本の鉄道システムに例えています。日本の通勤電車は、時間に正確なので有名です。みんなが、それを当然のことと受けとめています。しかし、遅れがあると、たくさんの不満が寄せられます。現在、当社のVDIシステムが安定して運用されているため、ユーザーからの不満の声は少なくなりました」と竹下氏は言う。



NVIDIA.